

平成24年度  
実施事業

事務事業名 言語障害通級指導教室運営経費

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	3	教育環境の充実
主要な施策	3	③特別支援教育体制づくり
事務事業番号	006	事業開始年度 昭和 59 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名 教育部 グループ名 学校教育グループ

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください) 言語治療を必要とする幼児・児童を対象にことばの教室を開設し、幼児部・小学部の入級判定や保護者との教育相談、言語指導を行うことにより、言語障がい児教育の充実・伸展を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) 言語治療を必要とする幼児・児童を対象にことばの教室を開設し、幼児部・小学部の入級判定や保護者との教育相談、言語指導を行った。 【事業実績】 ・通級児童数 平成24年度 幼児部46人 小学部49人 計95人 平成23年度 幼児部39人 小学部56人 計95人 平成22年度 幼児部38人 小学部60人 計98人 ・指導時間 平成24年度 週当たり1時間児童46人 週当たり2時間児童 3人 週当たり3時間児童 0人 ※本事業の実施に係る人件費(幼児部のみ)4,835千円(財源:市4,835千円) ※小学部の人件費は、幌別小学校の教職員のため、北海道で負担。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) 今後とも言語治療を必要とする幼児・児童の個別指導への環境を整えながら、言語障がい教育の充実を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費(財源内訳)の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	159	156	155	165	165
事業費合計			159	156	155	165	165

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 通級児童数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	56	49			
	②	目標値						
		実績値						

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
言語治療を必要とする幼児・児童を対象に、幼児部・小学部の入級判定や保護者との教育相談、言語指導を行うことにより、言語障がい児教育の充実・伸展を図っている。	今後とも言語治療を必要とする幼児・児童の個別指導への環境を整えながら、言語障がい教育の充実を図る。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 本事業は、障がいに応じた特別の指導を行なう必要がある児童等に対し行なわれており、市が事業を実施することは妥当である。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 言語治療を必要とする幼児・児童を対象に、幼児部・小学部の入級判定や保護者との教育相談、言語指導を行うことにより、言語障がい児教育の充実・伸展を図っている。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 消耗品購入費用等、必要最低限の経費で事業を実施しているため。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 個別に指導を行なうため、一人ひとりに適合した指導が行なえている。
	<input type="checkbox"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	個別指導を通して、自立心を養う重要な事業である。
-----------	----------------------	--------------------------

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--

〔評価区分〕

- ◆拡大 (事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持 (事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善 (当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止 (暫定的に休止する事業)
- ◆廃止 (事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了 (事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)